

雇用型経営を核とした宗像園芸産地の維持・拡大～経営安定に向けた雇用ヘルパー活用～  
【平成27年度福岡県普及現地事例情報（北筑前普及指導センター）】

[抄録]

宗像地域の園芸農業は、生産者の高齢化による園芸部会員の減少や農産物直売所への出荷量増大により市場出荷量が減少するなど、産地構造が大きく変化している。

また、農家の多くが家族労働力を主体としていることから、農家の経営強化に向けた生産規模の維持拡大を図るため、雇用システムを活用して労働力の確保に取り組んだ。

[本文]

詳細は添付ファイルを参照ください

# 雇用型経営を核とした宗像園芸産地の維持・拡大

～ 経営安定に向けた雇用ヘルパー活用 ～

## 1 課題化の背景

宗像地域の園芸農業は、生産者の高齢化による園芸部会員の減少や農産物直売所への出荷量増大により市場出荷量が減少するなど、産地構造が大きく変化している。

また、農家の多くが家族労働力を主体としていることから、農家の経営強化に向けた生産規模の維持拡大を図るため、雇用システムを活用して労働力の確保に取り組んだ。

## 2 活動内容

### (1) 雇用及びパッケージングを活用した経営の維持・拡大

- 雇用システムを活用した経営の推進のため、各品目の部会会議等において雇用ヘルパーの利用推進を啓発。
- 雇用に係る法令や事故等のリスク管理に対する認識を深めるため、社会保険労務士による雇用研修会を実施した。
- 雇用ヘルパー利用者数の増加に対応するため、新たな雇用ヘルパーに対してスキル向上のための技術研修をイチゴパッケージングについて実施。



【社会保険労務士による雇用研修会】



【雇用ヘルパーを活用したカワラワケ収穫】



【雇用ヘルパーを活用したブロッコリー箱詰め】



【雇用ヘルパーを活用したキャベツ収穫】

- (一財) むなかた地域農業活性化機構、宗像市、福津市、JAむなかた、同関係部会部会長、両市の認定農業者協議会会長、普及指導センターで構成する雇用調整システム実証会議に参画し、安定したシステム運営に向けた活動を実施

(2) JA部会を核とした園芸品目のパッケージング体制整備支援

- イチゴにおいて収穫量が急増する春先の収穫調製労力確保のため、雇用ヘルパーに対してイチゴパッケージングスキル向上を目的に、先進農家研修を行った。(12月21日～実施)



【イチゴでの雇用ヘルパーに対するパッケージングの研修】

### 3 主な成果

(1) 雇用及びパッケージングを活用した経営の維持・拡大

- 雇用ヘルパー活用農家数が平成27年11月末現在で延べ100戸(昨年比+20戸)、雇用ヘルパー紹介者数が延べ279名(同+83名)となった。
- 雇用ヘルパーに対する農家の認知度が高まり、今後の需要増が見込まれるようになった。
- イチゴでの雇用ヘルパー研修を収穫及びパッケージング作業において実施し、ヘルパーのスキルが向上できた。

(2) JA部会を核とした園芸品目のパッケージング体制整備支援

イチゴにおいて、パッケージングスキルを習得した雇用ヘルパーを、調製労力が不足している農家が活用することで販売数量増加し農家経営改善につながった。



【雇用システム実証会議によるイチゴパッケージングセンター視察研修会】